

## イギリス・ブリストル大学での1年間

法学部 荒井香澄

### 留学の理由・目的

小学生の時の英会話のレッスンで英語と海外に興味をもち、長年海外留学に憧れを持っていたことが当初の理由です。その後、新潟大学に入学し、法律を学ぶ中で海外の法律とそ  
の人権保障の仕組みへの興味がわき、それらを学ぶため語学留学ではなく専門分野が学べる留学を志望しました。

### 留学先での学習・活動と生活の環境

～6月から8月～

最初の10週間は同大学で開講されている語学のコースに通っていました。大学で求められるエッセイやプレゼンテーションなどのスキルを学びなおすことのできた重要な期間でした。朝から夕方まで1日授業で、クラスも寮も大半は中国人の大学院生でしたが、休み時間や夕食後におしゃべりをして楽しく充実した10週間を過ごせました。

～9月～

約1か月の夏休みがあり、トビタテの実践活動であるボランティア活動も開始しました。また、この間に3人の友人と寮からシェアハウスに引っ越しをしたり、ロンドン観光をしたりしていました。

～10月から6月～

10月から本格的な授業が始まり、国際法、ビジネス法、権利に関する法律科目を含む7科目を履修しました。授業の形式は、大講義室で行われる一般的な講義だけでなく、少人数で議論するセミナー形式の授業も含まれています。授業数は多くはありませんが、セミナーに備えかなり多くの文献を読む必要があり、授業後は夜まで図書館にいるという生活をしていました。ブリストル大学では大半の講義が録音されているため、理解できなかった点も講義後に簡単に聞き直せるのが良かったです。

学習面以外では、女子サッカー部の活動にも参加し、大学に入ってから始めたサッカーも続けることができました。練習日数が少ない、また、大学にジムが併設されたことを理由に、授業前や学習の息抜きに友人とジムにも通っていました。

日本人の学生はそこまで多くないので、最初の1か月は日本人には1度も会うことはありませんでした。その後、Bristol Japanese Language Meetupという日本に興味があるメンバーが多く集う会を見つけ、毎週参加することで、日本語や日本の文化を教えたり、イギリスについてのお話を聞いたりとたくさん交流をしていました。

## 印象に残った留学中のエピソード

旅行するたびに何かしらのハプニングに見舞われたことです。詐欺にあいかけたり、飛行機が飛ばなかったり、ホテルが勝手にキャンセルされていたりと今まで経験してこなかったトラブルにあいました。どれも何とか対応し危機を免れ、最終的には良い思い出です。その際、日本のサービスの質の高さを何度も実感しました。

## 留学して学んだこと

ブリストル大学の学生は学習意欲が高く、意見を持ち、それをはっきりと主張できる学生ばかりでした。そんな学生たちと同じ環境に身を置くことにより、今までの受動的な学びをやめ、以前よりはっきり意見を述べられるようになりました。また、積極的に行動することでいくらでも人脈を広げることができると実感しました。

## 語学がどのくらい上達したか

多くの文献を読むことで、格段にリーディングのスキルが上がりました。留学前は、どの英語の試験でもリーディングのスコアが圧倒的に悪く、数行読むだけで眠い読みたくないと感じていましたが、今は英文を読むのも苦ではないし、どこが要点かも簡単につかめるようになったなど感じています。日常会話や友人とおしゃべりも自分の英語を気にすることなくできます。

一方、スラングや専門外の英語については、まだまだ学習が必要なレベルです。

## 留学を薦める理由

日本は何でもそろそろ、とても便利な国であることは間違いないと思います。そんな中で、お金をかけ、準備をし、自ら苦しい環境に身を置くという選択をすることは簡単なことではないと思います。しかし、当たり前ですが、行ってみないと体験してみないとわからないことがたくさんありました。私は日本の良さを再確認すると同時に、日本について知らないことがまだまだたくさんあることを実感することができました。国内旅行よりも海外旅行に行きたい派でしたが、今は日本の魅力を広め、もっと好きになってもらうために、日本について学びたいと心から思っています。

## トビタテで留学して良かったこと

まずは、両親への金銭的負担を圧倒的に軽くできたことです。月に16万という奨学金をいただけていなければ、私は留学を断念していたと思います。さらに、トビタテに応募することにより、自分の考えを整理し、はっきりとした目的を持った留学ができました。面接の際に出会った学生、事前研修で出会った仲間の意志の強さ、熱意には目を見張るものがあり、自らを高めることができたと思います。今後も様々な分野で努力するトビタテコミュニティの一員でいられることで、刺激し合い、成長していきたいと思っています。



ブリストル大学



隣町パースで友人と



新歓イベント We are Bristol